



2019年3月13日
パーソルキャリア株式会社

高度プロフェッショナル制度導入で“顧問採用”は変わるか？

顧問採用経験のある4人に3人の経営者・役員が顧問の働きに満足しているが、
顧問に対して**改善点があると答えた人が約6割**もいることが判明

理由の1つは閉鎖的な採用方法にあり？

約半数が「知人・関係者からの紹介」で顧問を採用
4割以上が顧問採用の失敗経験ありと回答

総合人材サービス、パーソルグループのパーソルキャリア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：峯尾 太郎）が運営する経営顧問の紹介サービス「i-common（アイコモン）」 < <https://i-common.jp/> > は、30代～60代の経営者・役員400名を対象に「自社の顧問採用と顧問へのイメージ」についての調査を行いましたので、結果をお知らせいたします。

高度な専門知識を有し一定水準以上の年収を得る労働者について、労働時間規制の対象から除外する仕組みである「高度プロフェッショナル制度」がついに2019年4月よりスタート。これまでの労働時間を軸としない、新しい働き方として注目が集まっています。

「i-common」は2011年よりサービスを開始し、企業の経営課題を知見・ノウハウ・人脈によって解決する経験豊富なシニアエグゼクティブや専門性を有したスペシャリストを紹介することで経営支援を行ってきました。今回、「高度プロフェッショナル制度」の導入によってさらなる活躍が期待される“顧問”に焦点を当て現状を調査したところ、採用に関わる多くの経営者・役員が自社顧問の働きに満足していることがわかりました。しかし、顧問への改善点を聞いたところ半分以上の約6割があると回答。約半分が「知人・関係者からの紹介」による採用で、全体で4割以上の人が採用に失敗した経験があると感じていることがわかりました。

【調査結果】

① 言いたいことが言えない？4人に3人が顧問の働きに満足しているのに対し、改善点があると回答した人が半数以上！

- ・顧問を採用した経験のある経営層・役員のうち、顧問の働き方に満足している人は全体の4人に3人以上（75.4%）。しかし改善点があると感じている人は、約6割（57.9%）にも上る。
- ・改善点として、「自らもっと積極的に動いてほしい」、「もう少し聞き上手になってほしい」など。

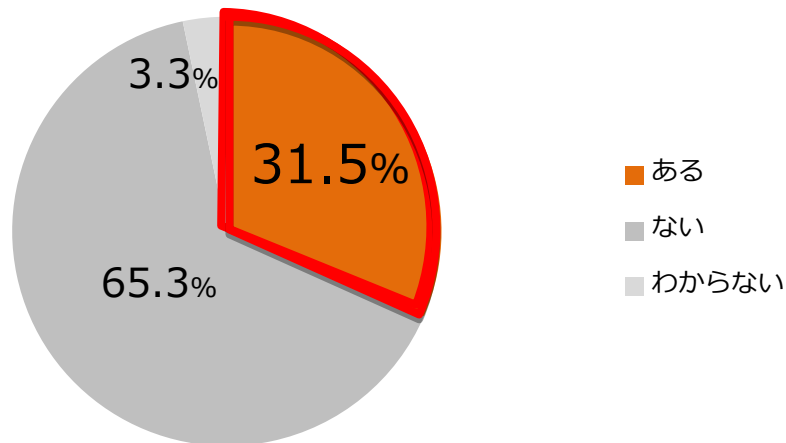
② 顧問採用法は閉鎖的？約半数がいまだに「知人・関係者からの紹介」で採用。採用に失敗した経験がある人は4割以上！

- ・雇用形態は正規（47.6%）・非正規（48.4%）と広がる中、顧問採用方法の約半数（48.4%）が「知人・関係者からの紹介」。
- ・全体で4割以上（45.2%）が顧問採用に失敗した経験があると回答。

■ **自社で顧問採用したことがある人は約3割**

東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・京都・兵庫に住む男女30～60代の経営者・役員400名に調査したところ、31.5%が自社で顧問採用をしたことがあると回答しました。

【グラフ①】 あなたの会社では、顧問を採用したことがありますか？（N=400）



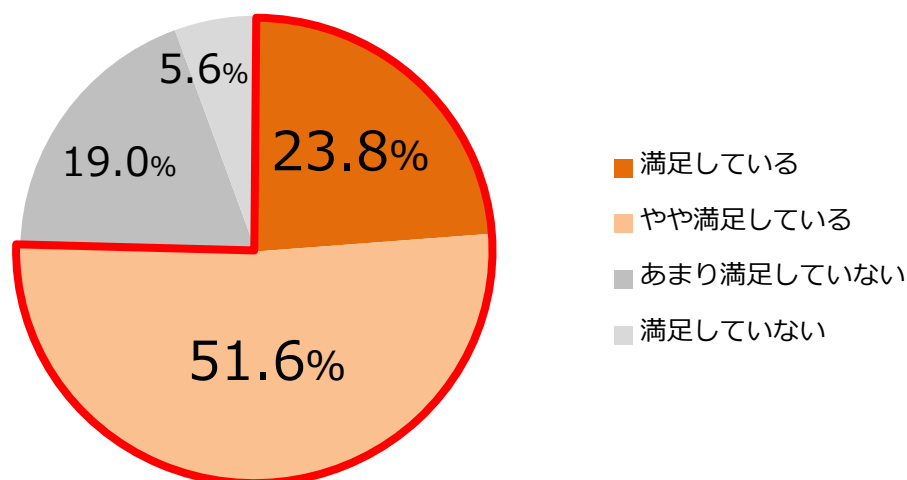
■ **満足度が高い顧問の働き、これって本音？改善点があると答えた人が約6割！**

続いて顧問の採用経験がある経営者・役員126名に対して、自社顧問の働きについて聞いたところ、満足している人が4人に3人以上（75.4%）いることがわかりました。一方で、約6割（57.9%）が改善点を感じているという結果に。

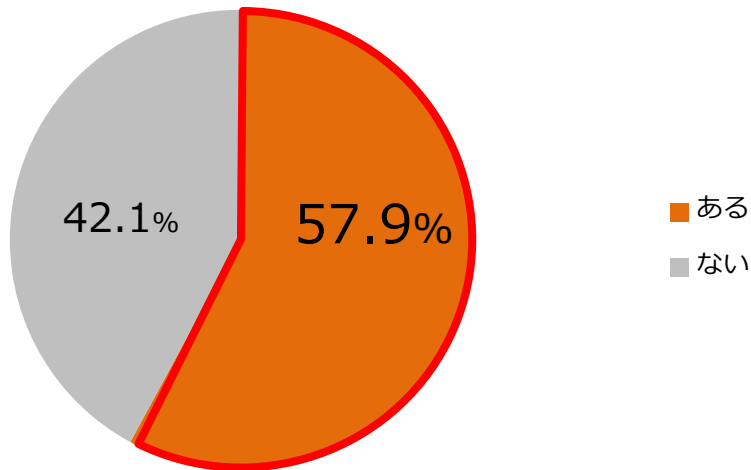
その中には、「もう少し聞き上手になってこちらの要望を聞いてほしい」など“コミュニケーション上の問題”が多数挙がっており、顧問に改善要望を適切に伝えられていないようです。

実際に「i-common」がサポートしてきた取り組みの中でも、企業担当者からは同様のコミュニケーション上の問題を感じている人が多く、「顧問に改善点してほしい点などがあっても直接言いにくい」という声が聞かれています。

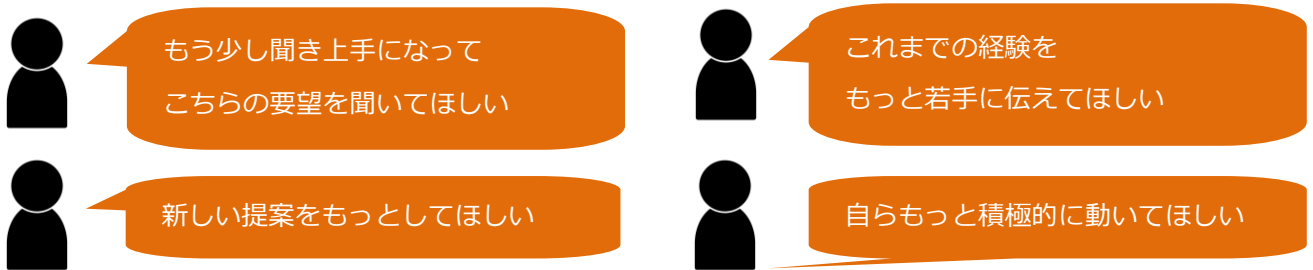
【グラフ②】 自社の顧問の働きに満足していますか？（n=126）



【グラフ③】 自社の顧問に対して、改善してほしい点はありますか？ (n=126)



【図①】 改善してほしい点とは？ (n=73)

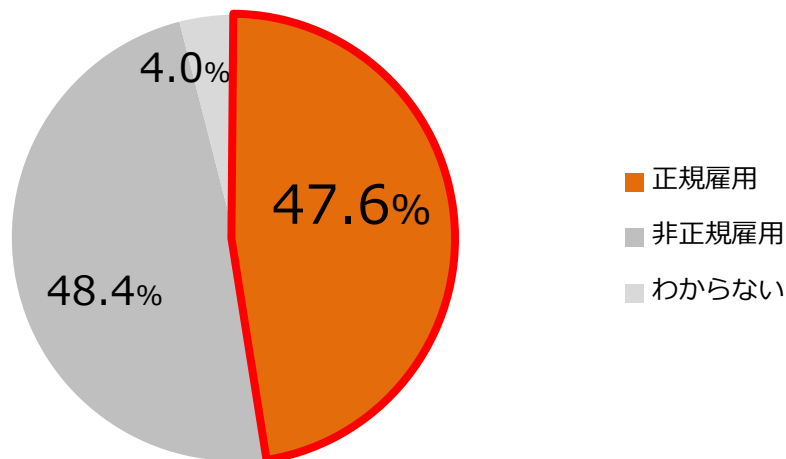


■ 失敗できないはずの顧問採用、失敗経験者は半数近くに…

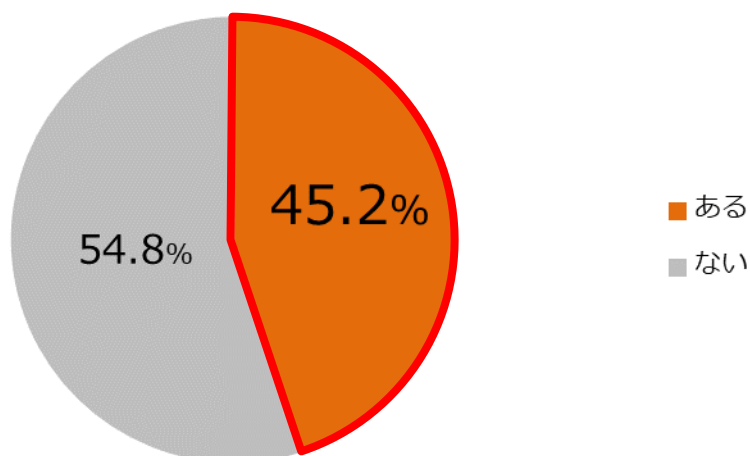
その一因は採用方法？「知人・関係者からの紹介」が半数を占めている！

顧問の雇用形態は正規雇用47.6%、非正規雇用48.4%と自由度が増す中で、採用方法は閉鎖的。約半数（48.4%）が、「知人・関係者からの紹介」で顧問採用をおこなっていることがわかりました。さらに、全体で4割以上（45.2%）が、顧問採用に失敗した経験があるという驚きの結果が明らかになりました。

【グラフ④】 顧問採用の雇用形態は？ (n=126)

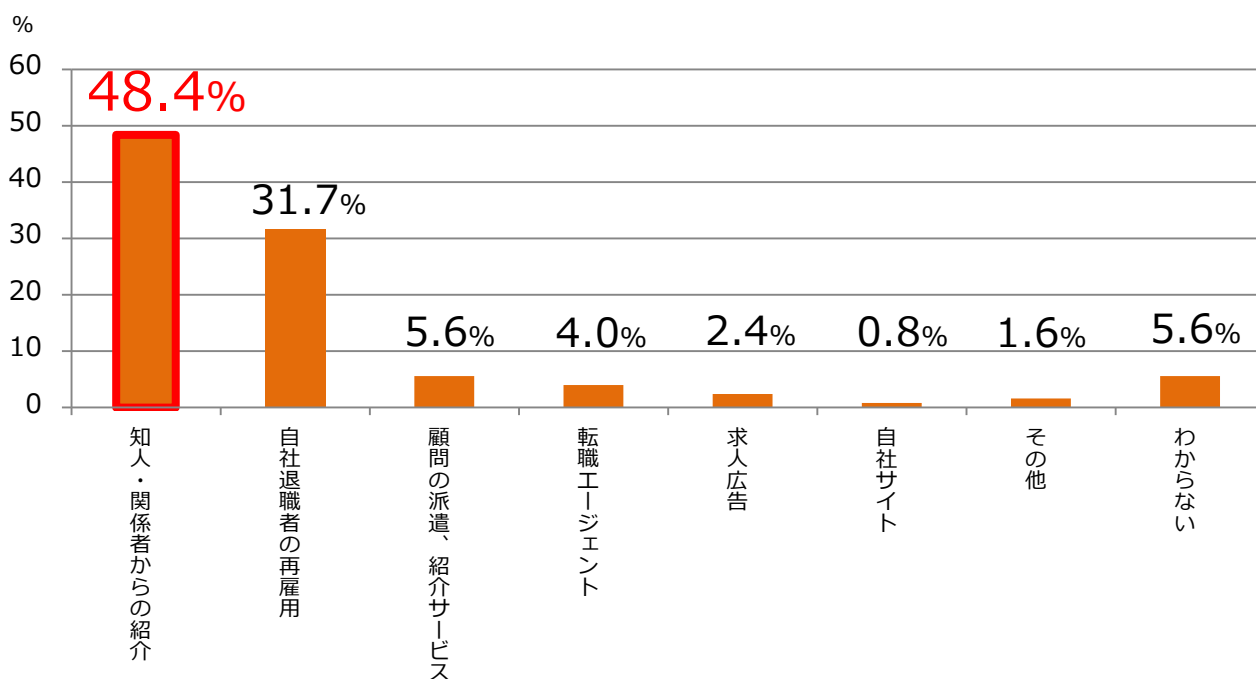


【グラフ⑤】あなたは顧問採用で失敗したと感じたことはありますか？（n=126）



【グラフ⑥】あなたはどのように顧問を採用しましたか？（n=126）

※複数採用したことがある場合は、最も多い形態を教えてください。



社長や役員に限られたネットワークからの顧問採用や、親会社や関係会社からの出向を通じた顧問の受け入れでは、その企業のことはある程度知っていても、パフォーマンスが発揮できるとは限りません。

「i-common」には、さまざまなノウハウとネットワークを持つ経験豊富な専門家が、約12,000人登録しており、企業・顧問間のミスマッチが起こらないよう、顧問を必要とする企業が顧問に求めるスタンスを明確し、さらにはその企業の社風や風土も理解した上で、その企業にマッチする専門家を紹介しています。また、採用決定後も、顧問による支援の進捗確認を随時フォローしており、直接顧問に言いたいことが言えない場合の相談役としても機能を果たしています。

「i-common」は今後も、企業が専門性を有したスペシャリストの知見やノウハウを必要とする際に、その企業にマッチする各業界のプロフェッショナル・専門家を顧問として紹介することで、企業の経営支援を続けてまいります。

<調査概要>

- ・調査時期：2019年2月
- ・対象：東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・京都・兵庫に住む男女30～60代の経営者・役員400名
- ・調査方法：インターネットによるアンケート回答方式

■ 「i-common (アイコモン)」について < <https://i-common.jp/> >

「i-common (アイコモン)」は、中小企業向けに、大手企業を定年退職した元役員、上級役職者を経営顧問として紹介する経営顧問サービスとして2011年にサービスを開始いたしました。企業の経営課題を、経験豊富なシニアエグゼクティブや専門性を有したスペシャリストの知見・ノウハウ・人脈によって解決する新しい形の経営支援サービスです。経営・事業・営業・企画、その他バックオフィス分野に至るまで、幅広い分野のプロフェッショナルを「経営顧問」「アドバイザー」「監査役」「取締役」としてご紹介。企業が抱える課題に対して「実行型」の経営支援を行います。

■ パーソルキャリア株式会社について < <https://www.persol-career.co.jp/> >

パーソルキャリア株式会社は、パーソルグループの「リクルーティングセグメント」中核会社として、転職サービス「doda」やアルバイト求人情報サービス「an」をはじめとした人材紹介、求人広告、新卒採用支援等のサービスを提供しています。2017年7月より、株式会社インテリジェンスからパーソルキャリア株式会社へ社名変更。グループの総力をあげて、労働・雇用の課題の解決を目指します。

■ 「PERSOL (パーソル)」について < <https://www.persol-group.co.jp/> >

パーソルは、2016年7月に誕生した新たなブランドです。ブランド名の由来は、「人は仕事を通じて成長し(PERSON)、社会の課題を解決していく(SOLUTION)」。働く人の成長を支援し、輝く未来を目指したいという思いが込められています。

パーソルグループは、人材派遣サービスの「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」やアルバイト求人情報サービス「an」をはじめとし、ITアウトソーシング、設計開発にいたるまで、国内外の幅広い企業群で構成されています。グループのビジョンである「人と組織の成長創造インフラへ」を実現するために、労働・雇用の課題の解決に総合的に取り組んでいます。